

4 空間別のポイント

【空間1】住まいの中

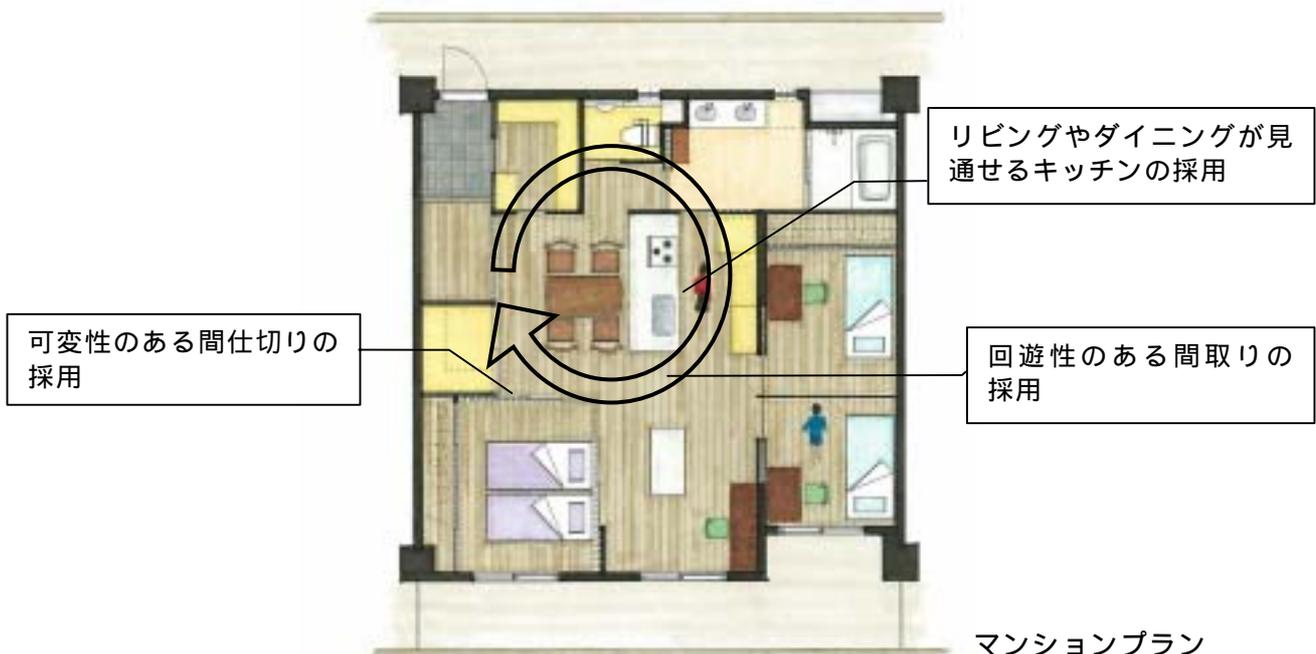
1-1 全体のプラン

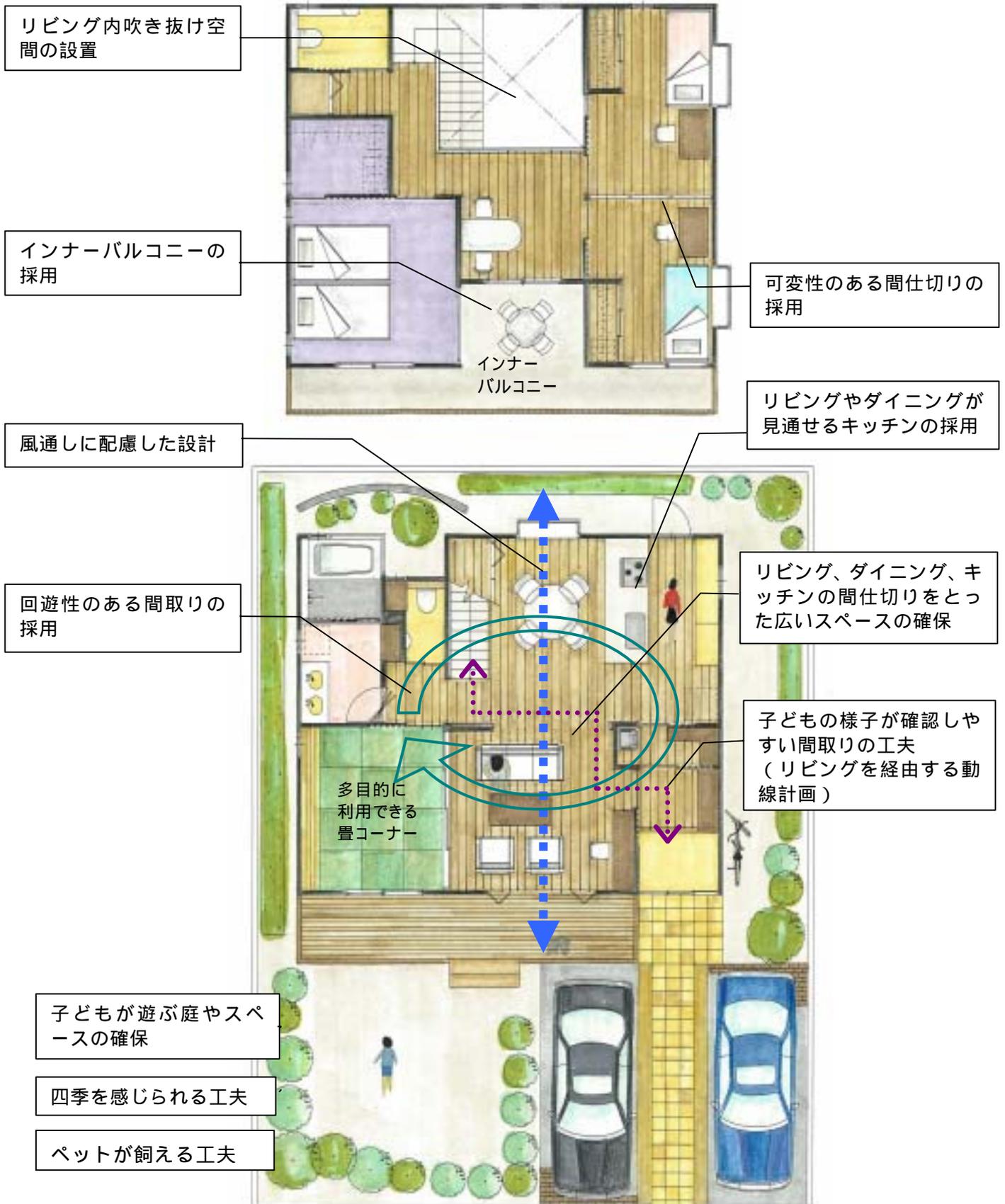
全体のプランは、住まいづくりの基本となります。子どもが、家族とふれあいながら、楽しく健やかに成長できる空間づくりを心がけるとともに、子どもの成長による変化に対応できる平面計画が求められます。

ポイント

遊び・学び	子どもが遊ぶ庭やスペースの確保	
	回遊性のある間取りの採用	
	日本の伝統的な様式、自然素材の採用	
	住宅内で四季を感じられる工夫	★
	ペットが飼える工夫	
ふれあい	リビング、ダイニング、キッチンの間仕切りをとった広いスペースの確保	
	子どもの様子が確認しやすい間取りの工夫	
	リビング内吹き抜け空間の設置	
変化	可変性のある間仕切りの採用	
	可変性のある（リフォームのしやすい）住宅の設計・選択	
	余裕のある居室・敷地の確保	
安全・安心	リビングやダイニングが見通せるキッチンの採用	
	風通しに配慮した設計	
	採光のとれる大きな窓やインナーバルコニーの採用	

すぐに対応できる内容を含む項目★





戸建てプラン

1-2 リビング・ダイニング・キッチン

リビング、ダイニングは、家族が集い・憩い、特に幼児が多く時間を過ごす生活の場所となる空間です。また、キッチンは、調理・後片付け等の場として、毎日の家事の中でも多くの時間を割く場所です。子どもと親のふれあい、子どもの育ち、家族それぞれの生活のしやすさ、家事負担の軽減、事故の防止などさまざまな配慮が必要です。

ポイント

遊び・学び	子どもがリビング・ダイニングで勉強等をして過ごせるスペースの確保	
	子どもの絵や写真等を飾れる場所の設置（展示機能の付加）	★
	子どもが手伝うことができるキッチンの広さの確保	
ふれあい	リビング、ダイニング、キッチンの間仕切りをとった広いスペースの確保	
	親や子どものスペースをリビングの中に確保	
	リビング内吹き抜け空間の設置	
便利	家事のしやすい動線の確保	
	キッチン収納の確保	
	リビング収納の設置	
安全・安心	熱くなりにくい設備の採用やコンロへのチャイルドロックなど火傷の防止	
	家具の転倒防止、収納扉などへのロック機能の設置	★
	子どもの思わぬ使用に対応した火災警報器、ガス漏れ警報器の設置	
	リビングやダイニングが見通せるキッチンの採用	
	採光のとれる大きな窓やインナーバルコニーの採用	

すぐに対応できる内容を含む項目★



1-3 トイレ・浴室・洗面所

トイレ、浴室、洗面所は、家の中でも、子どもの不慮の事故の防止や、清潔さの確保に特に配慮する空間です。また、家事負担の軽減や、子どもにとっての使いやすさなどを考えることが大切です。

ポイント

遊び・学び	子どもの使いやすい建具の採用	
	しつげがしやすく・子どもが使いやすいトイレの採用	
便利	床・壁等における汚れの落としやすい素材の採用	
	雨の日に洗濯物が干せる設備やスペースの確保	
	洗面所、浴室周辺の収納場所の確保	
安全・安心	滑りにくい床仕上げ、弾力性のある床材の採用など転倒時の危険防止	★
	段差のバリアフリー化	
	危険箇所へのチャイルドフェンス等の設置	★
	熱くなりにくい設備の採用など火傷の防止	
	閉じ込め防止のため外側から開錠できる鍵の設置	
	住宅内の温度差への配慮	

すぐに対応できる内容を含む項目★



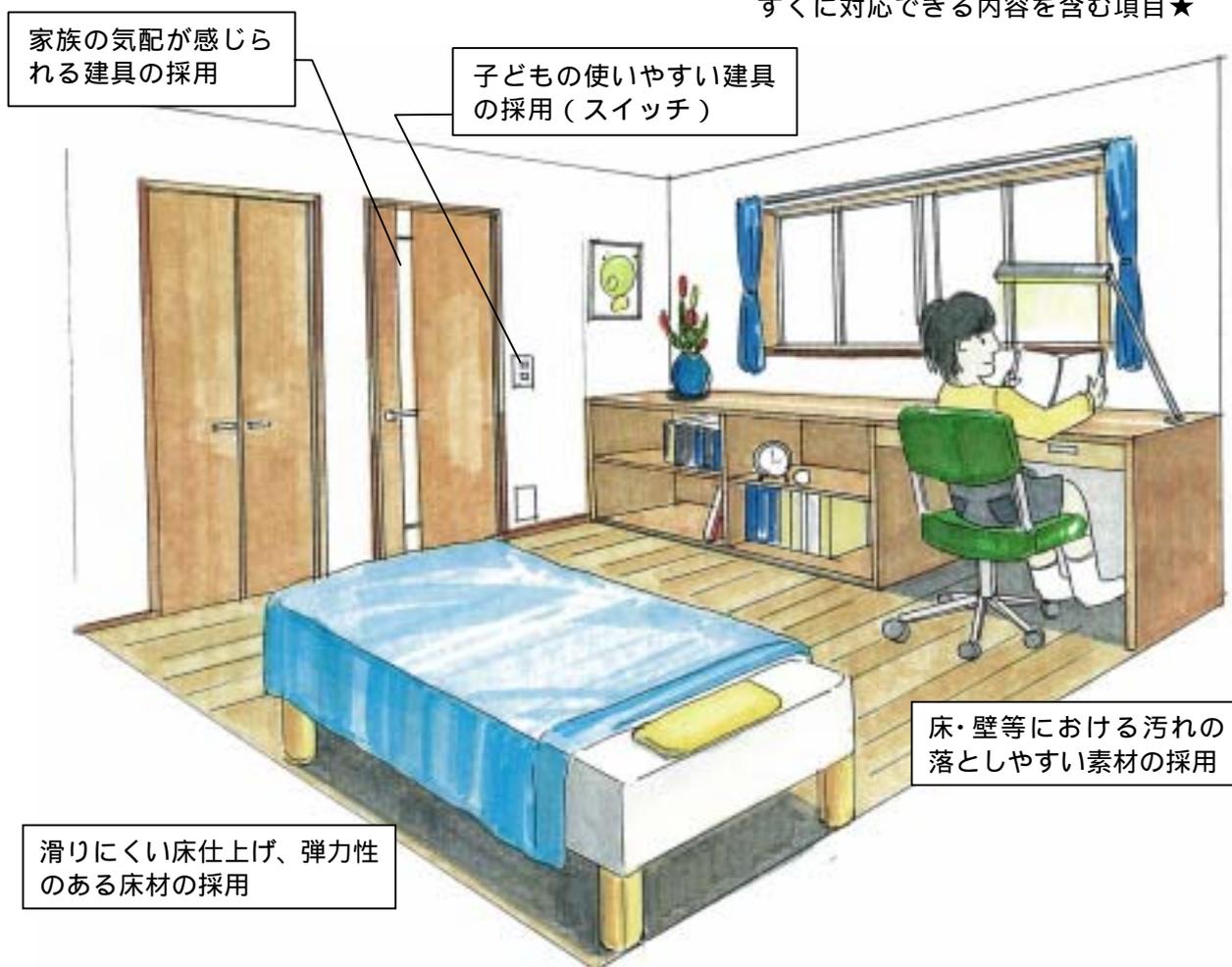
1-4 寝室・子ども部屋

寝室、子ども部屋は、疲れをいやしたり、自分の時間を過ごす部屋です。子ども部屋は、安全性に配慮するとともに、子ども自身が心豊かに暮らすいろいろな工夫ができる空間です。また、子どもの成長に対応でき、プライバシーを守りながら温かく見守っていることが伝わる空間づくりが大切です。

ポイント

遊び・学び	上下階や隣家に対する防音対策（周囲の理解）	
	子どもの使いやすい建具の採用	
ふれあい	親子一緒に寝ることのできる寝室の広さの確保	
	子どもの様子が確認しやすい間取りの工夫	
	家族の気配が感じられる建具の採用	
便利	床・壁等における汚れの落としやすい素材の採用	
	修繕のしやすい建具・素材の採用	★
安全・安心	滑りにくい床仕上げ、弾力性のある床材の採用など転倒時の危険防止	★
	コンセントの高い位置への設置、カバーの採用など安全性への配慮	★
	家具の転倒防止、収納扉などへのロック機能の設置	★
	ホルムアルデヒド対策が行われている建材や建具、家具の採用	

すぐに対応できる内容を含む項目★



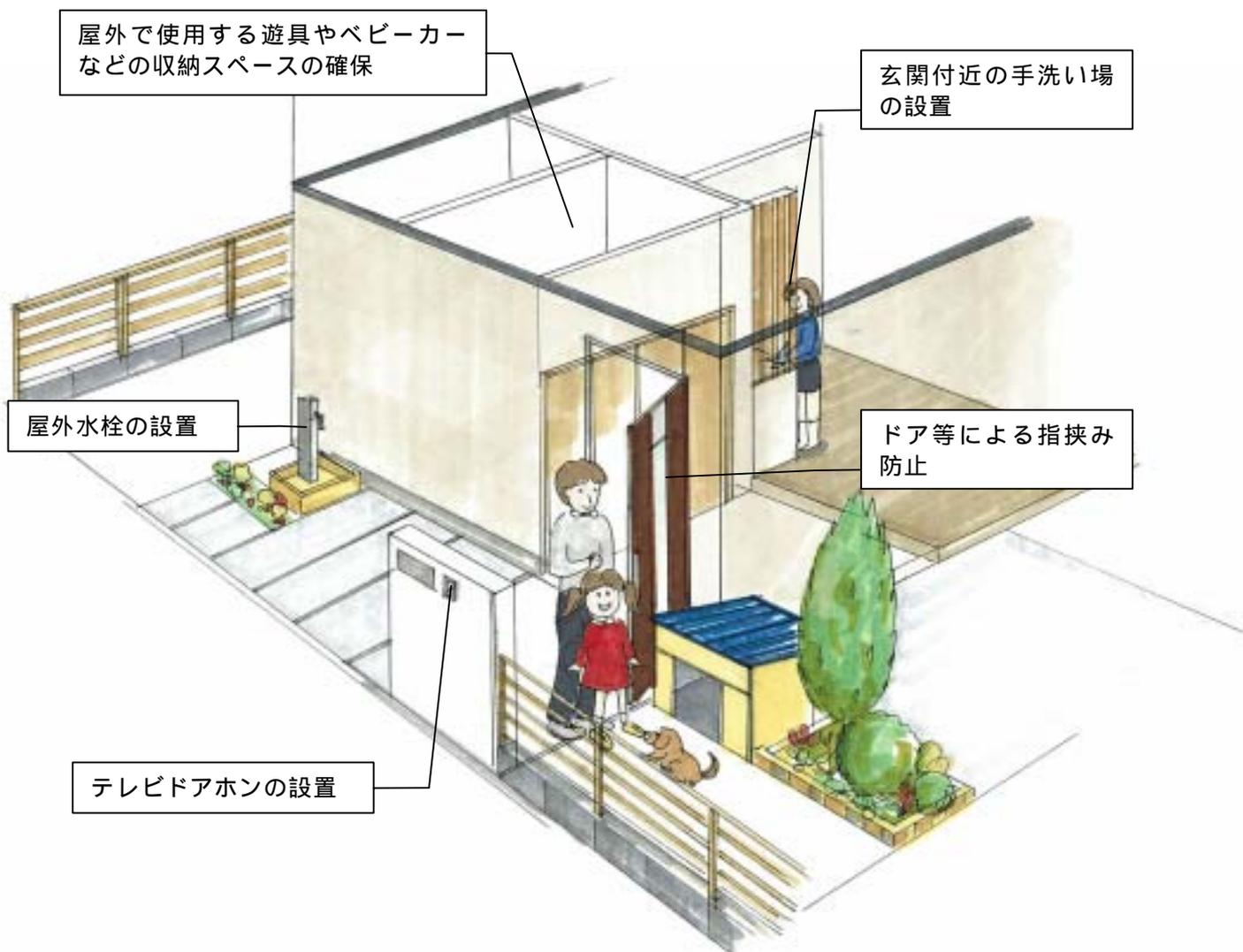
1-5 玄関

玄関は、住まいの入口であると同時に屋外に出る準備をする場所です。室内と屋外をつなぐ空間として、犯罪やケガの防止、外の汚れをできるだけ室内に持ち込まない工夫、外出の時に便利な空間づくり等に配慮する必要があります。

ポイント

便利	屋外水栓や玄関付近の手洗い場の設置	
	屋外で使用する遊具やベビーカーなどの収納スペースの確保	
安全・安心	柱の面取り加工、ドアストッパーの採用など衝突時の危険防止	★
	段差のバリアフリー化	
	ドア等による指挟み防止	★
	各住宅玄関におけるテレビドアホンの設置	

すぐに対応できる内容を含む項目



1-6 収納

収納は、整理整頓の場であり、子どもの誤飲や転倒などの事故を減らし、家事の負担を軽減し、快適な生活環境を実現するために欠かせない空間です。各部屋で使うものや使い方を考えながら、収納の場所・設備や収納物などを考える必要があります。

ポイント

便利	増えてくる子どものモノの収納スペースの確保	
	多彩な収納の工夫(ロフト、屋根裏の利用、簡易収納の利用等)	★
	キッチン収納の確保	
	リビング収納の設置	
	洗面所、浴室周辺の収納場所の確保	
	屋外で使用する遊具やベビーカーなどの収納スペースの確保	

すぐに対応できる内容を含む項目★

1-7 廊下・階段

廊下・階段は、移動の空間です。特に階段は転落など大きな事故につながりやすいことから、十分、安全性に配慮する必要があります。

ポイント

遊び・学び	子どもの絵や写真等を飾れる場所の設置（展示機能の付加）	★
ふれあい	子どもの様子が確認しやすい間取りの工夫	
安全・安心	滑りにくい床仕上げ、弾力性のある床材の採用など転倒時の危険防止	★
	踊り場や手すりの設置などによる階段における転倒事故防止	
	危険箇所へのチャイルドフェンス等の設置	★

すぐに対応できる内容を含む項目★

【空間2】住まいのまわり

2-1 アプローチ・庭・自転車置き場(戸建住宅)

戸建て住宅のアプローチ・庭・自転車置き場など、住まいのまわりの空間は、住居と道路をつなぐ空間であり、地域社会への第一歩となる空間です。また、手洗いや収納など利便性に配慮をするとともに、子ども、友だち、親、近所の人など様々な人が話したり、四季を感じたり、遊んだり、社会生活や自然が体験できる工夫が大切です。

ポイント

遊び・学び	子どもが遊ぶ庭やスペースの確保	
便利	屋外水栓や玄関付近の手洗い場の設置	
	自転車置き場の確保	
	屋外で使用する遊具やベビーカーなどの収納スペースの確保	

すぐに対応できる内容を含む項目★

2-2 アプローチ・エントランス(集合住宅)

集合住宅のアプローチ、エントランスは、住居と道路をつなぐ空間です。玄関と同様に、犯罪やケガの防止、外の汚れをできるだけ室内に持ち込まない工夫に配慮する必要があります。また、管理人の配備や、防犯設備、自転車置き場、収納スペースなど集合住宅の共益サービスに子育て世帯のニーズを反映することが大切です。

ポイント

便利	屋外水栓や玄関付近の手洗い場の設置	
	集合住宅における玄関アプローチなどへのスロープの設置	
	自転車置き場の確保	
	屋外で使用する遊具やベビーカーなどの収納スペースの確保	
安全・安心	屋外灯の各所への配置	
	オートロック、防犯カメラ等の設置	
	集合住宅の避難経路における子どもに使いやすい建具の採用	
	常駐の管理人の配置	

すぐに対応できる内容を含む項目★

2-3 共用廊下・階段・エレベーター

集合住宅の共用廊下、階段、エレベーターなどにおいては転倒や転落等に関する安全性の確保や、子どもが利用することを考えた高さや操作方法に配慮することが必要です。

ポイント

遊び・学び	子どもでも操作しやすい位置へのボタン・操作盤の設置	
便利	屋外で使用する遊具やベビーカーなどの収納スペースの確保	
安全・安心	踊り場や手すりの設置などによる階段における転倒事故防止	
	転落危険箇所における手すりの設置及び足がかりを生じさせない工夫	★
	防犯カメラ等の設置	
	集合住宅の避難経路における子どもに使いやすい建具の採用	

すぐに対応できる内容を含む項目★

2-4 キッズルーム・プレイロット

集合住宅において、室内で遊ぶことができるキッズルーム、敷地内の屋外での遊び場であるプレイロットなどがあると、子どもだけでなく、親同士や集合住宅内の人との交流も生まれます。一定規模の集合住宅では保育施設の併設も考えられます。戸数が少ない場合は、集会所と兼用したり、敷地内のちょっとした場所を活用してもよいでしょう。

ポイント

遊び・学び	集合住宅内での子どもの遊び場の設置	
便利	集合住宅敷地内への保育所、託児所等の保育施設の併設	

すぐに対応できる内容を含む項目★



【空間3】まわりの環境

3-1 子どもの成長への対応

子どもが心身ともに健やかに成長するためには、日常生活、遊び、友だちや大人との交流、地域活動への参加等を通して、いろいろな社会・文化・自然を体験する機会があるとよいでしょう。

ポイント

施設	樹木草花、田畑、虫や鳥など四季を五感で感じることができる	
	公園など屋外の遊び場が近くにある	
	集合住宅の敷地内に住民のふれあいの場が設置されている	
活動	子どもが文化・スポーツ・就業体験など様々な社会体験ができる機会がある	
	自治会、子ども会、公民館行事、お祭りなど地域での交流を生む機会がある	
	集合住宅内で情報交換をするしくみがある	

すぐに対応できる内容を含む項目

3-2 子育てのしやすさへの配慮

医療機関、子育て支援施設・サービスや、乳幼児連れでも入りやすい公共施設・店舗・飲食施設などが近くにあるとよいでしょう。また、将来に備え、用途地域等の都市計画に留意するとともに、日当たり・風通し・緑化等に配慮することが大切です。

ポイント

施設	医療機関が近くにある	
	子どもが外出しやすいまちである	
	都市計画により居住環境が保全されている	
	日当たりや風通しへの配慮がある	
	敷地内の緑化を推進している	★
活動	子どもを預ける施設・サービスがある	
	育児仲間をつくったり、育児の相談ができる場所がある	

すぐに対応できる内容を含む項目★

3-3 子どもの安全性の確保

周辺の道路の交通量や歩道などハード面の状況を確認する必要があります。安全性については、日常的にお互いにあいさつをしたり、地域で子どもの見守り活動が活発に行われるような環境やしかけがあるとよいでしょう。

ポイント

施設	周辺の交通量があまり多くない	
	周辺の道路において歩車が分離されている	
	通学路上に危険な場所が無い	
	警察署・駐在所・こども 110 番の家等が近くにある	
活動	地域住民や保護者による交通安全活動がある	
	子ども安全マップ等を利用する・作成する	
	公園や学校等が地域から温かく見守られている	
	近所の人子どもに注意しやすい環境がある	
	地域で子どもを見守るしくみがある	

すぐに対応できる内容を含む項目★